2026年11月12日

各　位

会社名　岡谷電機産業株式会社
代表者名　代表取締役社長執行役員　高屋舗　明
（コード番号 6926　東証スタンダード市場）
問い合わせ先
取締役常務執行役員経営企画室長　金丸　昌雄
（TEL　03-4544-7000）

第２四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2026年５月14日に公表した2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異
（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回公表予想（Ａ）	5,400	△540	△510	△520	△23.23
今回実績（Ｂ）	5,988	△878	△871	△823	△36.79
増減額（Ｂ－Ａ）	588	△338	△361	△303	
増減率（%）	10.9	―	―	―	
（ご参考）前期第２四半期連結実績（2026年３月期第２四半期）	4,981	△1,004	△981	△974	△43.56

（注）１株当たり中間純利益の算定に用いる期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託（BBT）」に係る信託財産として「株式会社日本カストディ銀行（信託Ｅ口）」が保有する当社株式が含まれています。

（差異の発生の理由）

当第２四半期（中間期）連結会計期間の売上高については、当社の主要な販売市場である産業機器向けが、AI・データセンター関連及びFA関連の堅調な需要等を背景に、国内を中心に増加したことで、予想を上回りました。一方で利益については、売上高の増加による効果はあったものの、中東情勢の影響等による原材料調達コストの上昇が、製品価格の改定や材料の見直しをはじめとする原価低減より先行したことから、予想を下回る結果となりました。

（収益回復に向けた取組み）

当社は現在、前述の原材料コスト上昇に対応すべく製品価格の改定を進めており、その効果は下期以降徐々に発現していく見込みです。また、低採算製品の統廃合、材料の見直しや調達コスト低減等の取組みも併せて進めております。さらに、生産体制の抜本的な見直しとコスト構造を聖域なく見直すこと

で固定費の縮減を進めてまいります。これらの施策を徹底して推進し、収益性の改善を加速してまいります。

なお、通期連結業績予想につきましては、現在顧客との価格改定の交渉を進めており、下期よりその効果が見込めることや、コスト構造の見直しを推進していることから、現時点においては 2026 年５月 14 日の公表値を据え置いております。見直しが生じた場合には、速やかに開示いたします。

以　上